

環境経済委員会報告

令和6年10月24日

市民クラブ 山口たかゆき、梅原和喜、山谷好弘

■委員会日程 令和6年10月23日、24日

10月24日（水）

■第41号議案 公の施設の指定管理者の指定について（長崎市池島炭鉱体験施設）

- ・ 予算：3年間で76,950千円
- ・ 概要：長崎市池島炭鉱体験施設は、平成28年4月1日から開業されており、現在の指定管理者は、三井松島リソース株式会社である。今回、令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間を三井松島リソース株式会社とするもの。
- ・ 意見等：施設のガイドが高齢化しているため、5年間ではなく3年間を指定管理期間としており、将来この施設が継続できるか不安である。今後は多くの方に来場していただけるようチラシなどで周知を行い、施設が存続できるよう要望する。（委員）

■第2号議案 令和5年度長崎市一般会計補正予算（第13号）

- ◆世界遺産保存整備事業 端島炭鉱（平成30年度～令和6年度）
- ・ 予算：▲2,116,300千円
- ・ 概要：世界遺産端島炭鉱の修復・公開活用計画の見直しにより令和6年度から令和9年度までの継続費について、2,116,300千円減額するもの。

令和6年10月決算委員会 環境経済委員会賛成討論

市民クラブ 梅原和喜

2024年10月24日

ただいま、議題となっております、第101号議案「令和5年度長崎市一般会計歳入歳出決算」について、本委員会に付託された部分に関し認定の立場から市民クラブを代表して以下、意見を申し上げます。

まず、第2款総務費 第1項総務管理費

「がんばらんば長崎市応援寄附推進費」8億6,787万6千720円について、本決算は、ふるさと納税制度を通じて、本市の魅力ある返礼品を市外へ発信し、地域経済の活性化を図るとともに、寄付額の増加を目指す事業であります。

ふるさと納税については、本年10月に開業した「長崎スタジアムシティ」の試合席や宿泊といった返礼品などの取組み方針も示されました。新しい取組みも交えながら長崎市の地場産業の強化を推進して頂きたい。

次に第6款農林水産費 第3項水産業費

「水産センター費」6,025万3千882円について、

本事業はクマエビ、ガザミなど6種類の魚類を放流用や養殖用として育て、長崎市の漁業者を支援するとともに、お魚のおいしい長崎を県内外へ宣伝して多くの観光客等に長崎を訪れて頂くことを目的とした事業であります。

海水温の上昇により沿岸で獲れる魚種も変化している中、獲る漁業から育てる漁業へ移行しつつあります。育てる漁業については、DX化を推進して頂き、同時に地域で獲れるお魚、例えば伊王島の朝どれカマスなど、長崎で獲れる地域のお魚を地元と連携しながら、地域活性化のため、県内外に宣伝して頂きたい。

あわせて、本事業は、長崎の魚のおいしさを市民・観光客に認識して頂き、観光コンテンツの一つとして「長崎の魚」を定着させ、消費の拡大を図ることと共に、さしみシティについては、日本全国の方に長崎のおいしい「さしみ」を食べに訪れてもらえるよう、首都圏などへも積極的に宣伝を強化して頂きたい。

次に第7款商工費 第1項商工費

「商工振興費」32億6,038万7千651円について、

長崎の強みを活かした企業誘致については、長崎県産業振興財団に派遣する市職員を増員していただき、さらなる企業の集積に努めて頂きたい。

また、あわせて長崎の人口減少対策として、若者が就職できるような魅力ある企業の誘致や、「すみやすい長崎のまちづくり」についても、関係所管と連携を図り、取り組んでいただきたい。

最後に、昨年、一昨年も決算委員会の討論の中で不用額を減少させ、可能な限り執行率を向上させる要望を提案しているものの、本委員会所管事業の説明の中でも50%に満たない事業もありました。

先般提出された、令和6年度～令和10年度の本市の中期財政見通しの資料では歳入においては、市税は、人口減少の影響があるとされています。

令和5年度予算は鈴木市長就任後、市長が組み上げた本格的な予算で有り、最初の決算となります。

長崎市経済の発展と市民生活の向上につなげるため、鈴木市長を先頭に市民を誰一人取り残さないという強い信念のもと、令和5年度の決算委員会での指摘を加味した来年度の予算執行として頂くことを強く要望し、認定討論と致します。